

## <人事・労務>

### 外国人技能実習制度について

日系進出企業（製造業）の悩みの1つとして、現地子会社の人材育成が挙げられます。日本では1人の作業員が複数の作業（溶接とプレス等）を行うのが普通ですが、タイでは溶接なら溶接だけと、採用時に決められた作業以外を行わないローカルスタッフが多く、当初の想定以上に人手が必要になるという事態が発生してしまうようです。

現地従業員のレベルアップを図る方法としては、日本から技術指導員として駐在員を派遣する方法が一般的ですが、別の方法として、現地子会社の従業員を日本へ送り、親会社の工場でより多くの経験を積ませるという「外国人技能実習制度」があります。今月はその制度の概要をご紹介します。

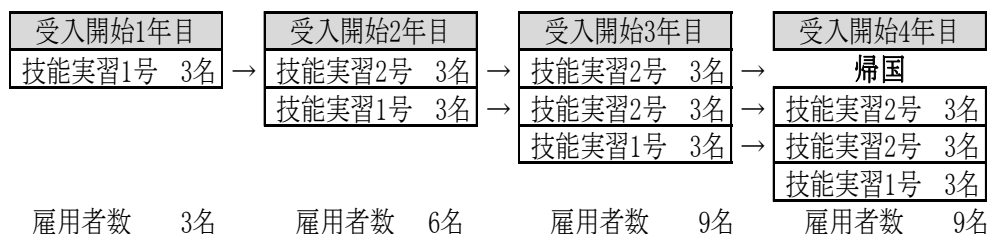
### 【外国人技能実習制度の概要】

現行の外国人技能実習制度は、最長3年の期間において、技能実習生が日本企業との雇用関係の下、日本の産業・職業上の技能等を修得するというものです。その受入方法には、日本国内の企業等が海外の現地法人や合弁企業、取引先企業の職員を受け入れて技能実習を実施する「企業単独型」と、商工会や中小企業団体等の営利を目的としない団体（監理団体）が受け入れて、傘下の協力企業等で技能実習を実施する「団体監理型」があります。

団体管理型の場合、技能実習生は入国後に日本語教育、技能実習生の法的保護に必要な講義を受けた後、実習実施企業との雇用関係の下で、「技能実習1号」という在留資格を得て実践的な技能等の修得を図ります。入国から1年後に技能検定基礎2級資格等に合格し、技能修得の成果が一定水準以上に達していると認められれば、「技能実習2号」への在留資格の変更許可を受けることで、日本国内で合計3年間の技能実習を行うことができます。

常勤従業員50名以下の企業を例にすると、初年度の海外技能実習生の受入可能人数は3名ですが、この3名が「技能実習2号」へ資格変更されると「技能実習1号」の受入枠が空くため、新たに3名を受け入れることができます。下図のとおり、現行制度では、最大9名の海外技能実習生を雇用することが可能となります。

### <現行制度下による雇用確保のイメージ>



それでは、2017 年 11 月 1 日から施行される新制度ではどうなるのでしょうか。

下表の通り、常勤職員総数が 50 名以下の企業では、「技能実習 1 号」の受入可能人数が拡大されるほか、これまで最長 3 年であった実習期間が一定要件を満たせば最長 5 年となるため、受入企業にとっては、より多くの技能実習生を長く受け入れることが可能になります。

しかし、これまで届出で済んでいた技能実習計画が、外国人技能実習機構による事前認定制となるなど、技能実習生の法的保護に着眼した法整備も同時に進むため、監理団体や受入企業にとっては、手続面での負担が増えてしまうことが予測されます。

### <現行制度下での基本人数枠>

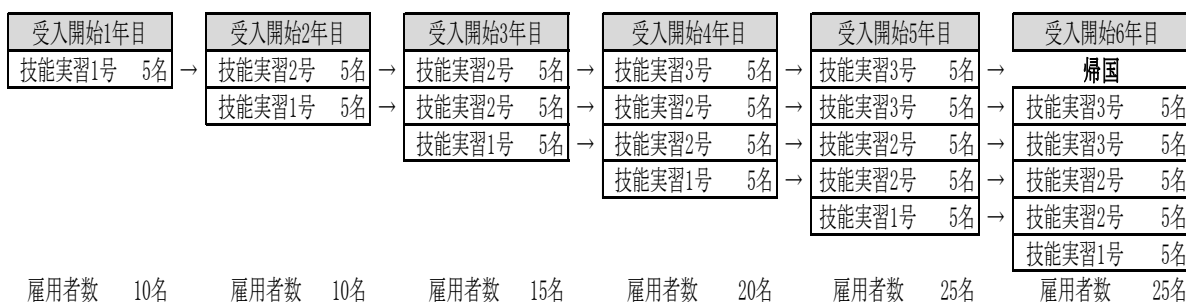
実習実施者の 常勤職員数	技能実習 1 号 受入可能人数
301 人以上	常勤職員総数 の 1/20
201 人～300 人	15 人
101 人～200 人	10 人
51 人～100 人	6 人
50 人以下	3 人

### <新制度下での基本人数枠>

実習実施者の 常勤職員数	技能実習 1 号 受入可能人数	【参考】優良基準適合者の人数枠優遇
301 人以上	常勤職員総数 の 1/20	
201 人～300 人	15 人	・技能実習 1 号：基本人数枠の 2 倍 ・技能実習 2 号：基本人数枠の 4 倍 ・技能実習 3 号：基本人数枠の 6 倍 ただし、下記人数を超えることはできない ・技能実習 1 号：常勤職員総数 ・技能実習 2 号：常勤職員総数の 2 倍 ・技能実習 3 号：常勤職員総数の 3 倍
101 人～200 人	10 人	
51 人～100 人	6 人	
41 人～50 人	5 人	
31 人～40 人	4 人	
30 人以下	3 人	

※常勤職員には技能実習生 1 号～3 号は含まれない。

### <新制度下での雇用確保のイメージ (実習実施者の常勤職員数 41～50 名、優良基準適合者の場合) >



※技能実習 2 号から 3 号移行時に技能実習生は 1 カ月以上の帰国が必須。

※優良基準適合者に対する基本人数枠の優遇は考慮していない。

## 【外国人技能実習生受入事業の具体例】

外国人技能実習生が現地でどのような訓練を行ってから日本へ渡航するのか、一例として、公益財団法人国際人材育成機構（以下、AIM・ジャパン）のタイにおける外国人技能実習生受入事業についてご紹介させていただきます。

AIM・ジャパンはタイ労働省と協定書を交わし、タイ政府から直接派遣された技能実習生の受入事業を行っています。候補者は20歳から29歳までの高等学校卒業以上の学歴を有する男女で、毎月行われる選抜試験により、約600名の中から30～40名が選抜されます。

選抜試験をクリアした候補者は、パムスタニ県（バンコクから1時間程度）にあるタイ労働省の訓練学校で併設の寮に泊まり込み、4カ月間の日本語研修に励むことになります。朝4時30分に起床し、運動・朝食後、12時からの昼食をはさんで夕方16時まで授業を受けた後、寮に戻り夜遅くまで宿題をこなすという非常にハードな内容です。さらに、この研修を終えれば日本に渡航できるわけではなく、日本語検定5級レベル（小学校1年生程度）以上の日本語能力を修得しなければ渡航は認められません。

また、外国人技能実習生の話となると、実習生が母国での事前研修のために借金を背負って日本へ渡航し、経済的なプレッシャーから失踪してしまうケースがあると聞きますが、AIM・ジャパンの場合は、タイ側での日本語研修費用等はタイ工業省が負担し、監理団体であるAIM・ジャパンの運営費用は受入企業が負担するという、実習生には経済的負担がない仕組みとなっています（そのため、失踪事件はここ数年発生していないそうです）。



AIM・ジャパン パムスタニ県訓練学校の授業風景

タイは日本に比べれば人件費の安い国ではありますが、毎年5%前後のベースアップがあるなど、人件費は上昇しているため、今後は、人材育成の差が企業競争力の差につながってくると言っても過言ではないかと思えます。

外国人技能実習生は日本人新卒者に比べ、受入当初は言語や文化の面でハンデがあるかもしれませんが、後々に海外子会社の優秀な人材になる可能性があることを考えれば、当該制度を活用した現地人材の育成を検討する価値はあるのではないのでしょうか。ただし、帰国後に受入企業の現地子会社で働くか否かは本人の意思によるため、必ずしも育てた人材を自社に繋ぎ留められないというネックがあることも、認識しておく必要があります。

## <生活>

### 各種規制の強化

バンコク市内には禁煙区域に指定されているところが多く、禁煙政策に関しては日本よりも進んでいると言えます。7月には、たばこを購入できる年齢が20歳以上に引き上げられたほか、禁煙区域での喫煙に対する罰金が、これまでの最高2,000バーツ（約6千円）から5,000バーツ（約15千円）に引き上げられるなど、喫煙に対する規制が強化されました。

また、他にも強化された規制があり、今年の4月からは車の後部座席でもシートベルト着用が義務化され、違反者には最高5,000バーツの罰金が科されるようになりました。

私見にはなりますが、このように喫煙やシートベルトの着用に関する罰則が強化される背景には、主要産業である観光業のイメージをよりクリーンで安全なものにしようという意図があるのではないかと感じています。

ビジネス、観光のいずれの目的でご来泰される場合にも、罰金には十分ご注意ください。

## タイ国内の展示会情報 (2017 年 8 月～2017 年 9 月)

### B I T E C

名 称	期 間
TILOG-LOGISTIX 2017 運送技術	8 月 16 日～8 月 18 日
ASEAN Ceramics セラミック関連商品、技術	8 月 31 日～9 月 2 日
Food & Hotel Thailand 2017 ホテル用飲食料、機械	9 月 6 日～9 月 9 日
THAILAND LAB INTERNATIONAL 2017 研究開発用技術・設備	9 月 6 日～9 月 8 日
Food Ingredients Asia 2017 食料品、飲料品	9 月 13 日～9 月 15 日
Wire Southeast Asia 2017 ワイヤー製品	9 月 19 日～9 月 21 日
Tube Southeast Asia 2017 チューブ製品、パイプ製品	9 月 19 日～9 月 21 日
PACK PRINT INTERNATIONAL 2017 包装資材	9 月 20 日～9 月 23 日
T-PLAS 2017 プラスチック製品、ゴム製品	9 月 20 日～9 月 23 日

### I M P A C T

名 称	期 間
Bangkok Furniture Fair 2017 家具	9 月 2 日～9 月 10 日
The 60 <sup>th</sup> Bangkok Gems & Jewelry Fair 2017 宝飾品	9 月 6 日～9 月 10 日
SIAM ASEAN Thailand 2017 農業技術、農業機械	9 月 7 日～9 月 9 日
RetailEX ASEAN 2017 小売店舗用機材	9 月 14 日～9 月 16 日
World Computer Mobile & Game Online Expo 2017 パソコン、オンラインゲーム	9 月 14 日～9 月 17 日
BMAM Expo Asia 2017 建物メンテナンス技術、	9 月 20 日～9 月 22 日
Beyond Beauty ASEAN-Bangkok 2017 エステ等、美容関係全般	9 月 21 日～9 月 23 日